

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 心房細動患者に対するカテーテルアブレーション施行時における経鼻エアウェイ挿入による吸気誘発性左房陰圧抑制効果の検討
	研究の対象 2018年9月～2022年6月までの期間に心房細動に対するカテーテルアブレーションを施行された方118名
	研究の目的 心房細動の治療方法の1つであるカテーテルアブレーションの合併症として、空気が体内に吸い込まれてしまう事により障害が発生する事があります。これには、左心房（心臓に肺から血液が戻ってくる部屋）の圧が重要であり、吸気により左心房の圧が陰圧になる事を防ぐことが重要であると考えています。そこで、この研究では、カテーテルアブレーション中に経鼻エアウェイ（鼻から入れた管により呼吸を助ける）の使用により、左心房が陰圧になる事をどれだけ防ぐことができるのか、明らかにする事を目的とします。
	研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2024年3月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	研究に使用する試料・情報 <ul style="list-style-type: none"> ● 研究対象者背景：年齢、性別、基礎心疾患、併存疾患、薬物療法の内容、生活歴（喫煙歴、飲酒歴） ● 身体所見：身長、体重、血圧、心拍数 ● 臨床検査：血液検査所見（NT-pro BNP, BUN, Cre, CBC, Trop-T, HbA1c）、心電図所見、心エコー図検査所見（左室駆出率、左房径、左室径、弁膜症）、CT所見 ● アブレーション所見：アブレーション治療の内容 ● 予後：アブレーション後の心房細動再発の有無、観察期間等

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>利用する者の範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学 内科学第三講座 成瀬代士久</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 内科学第三講座 成瀬代士久</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下 問い合わせ先 をご確認ください。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 第三内科学講座</p> <p>担当者： 成瀬 代士久</p> <p>TEL： 053-435-2356</p> <p>E-mail： ynaruse@hama-med.ac.jp</p>